

# チロリ通信！VOL.14 (2017.4)

発行元：NPOしずおかセラピードッグサポートクラブ  
〒410-0036 沼津市平町24-4-902  
電話&FAX 055-962-3190

<http://npo-stds.com/>



## クラブメンバーによるコラムコーナー

### 1、「捨て犬殺処分ゼロ募金箱」を店舗チェーン設置！ (前会長 加藤元章)

H28/12に東部地域を中心に約70店舗を展開する「クリーニングのサトウ」と捨て犬の殺処分ゼロに向けた活動資金用の募金箱を設置する協定を結びました！

保健所による犬の殺処分は、東部保健所管轄で以前は年間数百頭に上っていましたが、12年前の当クラブ設立以降、国の法改正で県の対応も変わり、認定団体には収容された犬たちを譲渡できる様になり、函南のボランティア団体「犬部」さんの尽力もあって年々殺処分数は減少。とうとうH26年度は20頭、H27年度は7頭に！

もう少しで「ゼロ」が達成できそうですが、この活動に佐藤社長が賛同、協定締結へ。犬のレスキューには、健康診断、病気治療、避妊去勢手術、シャンプー等の費用がかかるのですが、今回の浄財はその一部に使わせて頂きます！



### 2、動物愛護「路上パネル展」開催！ (会長 笠井清美)

前々からやりたいと思っていたこと…動物達の現状を伝えるパネル展を始めました。犬猫の殺処分の現状やペットショップの在り方、鑑札・狂犬病接種済み票装着は義務であること、迷子にさせないこと、終生愛情をもって動物を飼い続けること…など、パネルからいろいろお話させていただきました。

沼津仲見世商店街やイオン富士南店、静岡青葉通りなど、様々な場所で展示させていただきました。「知らなかった」「本当にこんなひどいことが？」「今の飼っているワンコを大切にします」など、見てくださったりお話を聞いてくださった方々から、いろいろな感想を頂きました。ありがとうございます。

クラブ発足して10年以上、犬猫を取り巻く環境は確実に良い方向に向かっていますが、まだ年間10万頭の罪のない命が殺処分されています。保健所からのレスキューだけでは解決しません。私達は知ること大切です。そして行動すること。路上パネル展は今後も、クラブの定例活動としていきます。



### 3、沼津ワイズメンズクラブにて「卓話」！ (副会長 加藤佳子)

2016.10.11 沼津ワイズメンズクラブ様から当クラブの活動を話す機会を頂きました。

2004年12月発足以来の私たちの活動を40分位で簡単にお話させていただきました。

皆様の前で、限られた時間で想いを伝える！今まで、顧問や、会長がクラブの講演を何度かやっていましたが、他人事でした。大勢の前で、話すことの大変さ実感しました。私のたどたどしい話となりましたが、活動に賛同して頂き、寄付まで頂きました。ワイズメンズクラブの皆様ありがとうございました！



### 4、虹の橋を渡ったチロへ (一時預かり：志田 はる美)

2016/8月に三島で保護されたチロ。私の家に来る迄はとても数奇な運命のシニア犬でした。出逢った時には、外耳炎がひどく悪臭もあり歩行もヨロヨロの状態、目もうつろで、もう人間を信じるのは疲れたと言うような表情でした。2匹の柴犬の先住犬がいる中の、私も初めての一時預かりであり不安もありましたが、柴犬達と同じようにチロに精一杯の愛情を注いであげようと決めました。⇒次ページへ

⇒ 柴犬達も快くチロを迎えてくれたので感謝。

やさしくおっとりした性格のチロ。毎日時間が空いた時に、頭をなでながら話をして接しました。1週間を過ぎた頃から顔の表情も豊かになり、ペランダで私が遊んでくれるのを待ってくれるようになりました。

チロには、絶対に幸せになってほしいと思っていたので積極的に譲渡会にも参加をしましたが、2月下旬に血液検査で腎不全であることが判明、それ以降、食事を吐くようになり、ガタッと食欲が落ち自分で立てずに緊急入院、点滴を打ちながら対応しましたが、3/18夜、最後は本当に穏やかな表情で旅立ちました。チロの容態が刻一刻と変化する中でとても辛かったけれどチロの最後を看取ることが出来て良かったと思っています。

一時預かりの中でチロに色々なことを学ばせて頂き、生涯かけがいのないものとなりました。犬は、飼い主を選べません。でも犬は、絶対に飼い主を裏切りません。だからこそ飼い主は、その命に責任を持たなければなりません。チロのような保護犬が一匹でも少なくなるよう、これからも捨て犬ゼロ・殺処分ゼロを前向きに取り組んでいきたいと思えます。



## 5、「里親」になりました！ (笠井 憲司)

皆さんは犬や猫を新しい家族として迎え入れる時どうしますか。ペットショップやブリーダーから購入？我家では昨年10月、福島県の動物保護施設「SORA」アニマルシェルターより新しい家族を迎え入れました！秋田犬モニーくん（推定4歳 雄）の里親になりました！

当クラブでも成犬譲渡活動に携わってきたので勝手は解っているつもりでしたが、この時は譲渡される側でしたので何だか不思議な気持ちでした。里親申請後は、飼育環境等の確認、トライアル、譲渡契約となる訳ですがそこに辿り着くまでが長かった（泣笑）。「SORA」からはどの里親希望者に対しても、複数回施設へ足を運び、実際に犬猫たちのお世話等ボランティア作業をすることを課題として与えられます。モニーくんはヤンチャっぷりが凄く、大型犬ということもあり信頼関係を育む時間が他の犬猫より必要だということもありましたが「里親になれる様に頑張って下さい」と言われた時にピンと来ました。これは、飼主としての資質を見定める為の試練だなと。果然やる気が出ましたよ～

（笑）期待にこたえてやろうと。3月からほぼ毎月福島へ通い頑張った甲斐あり、晴れて譲渡に結びつきました。もちろんモニーくん終生飼育と幸せな生活の提供を誓って。普通と違う形の譲渡でしたがその分、ずっと前から一緒に居る様な関係を築けたと思いますし、何より福島と「SORA」さんが大好きになってしまいました。素敵なご縁をありがとうございます☆



## クラブメンバー紹介

### 1、里親になった 青木優衣さん

ビーグル系 Mix のララを引き取った青木優衣です。ララは、とても元気で、人間が大好きですが、犬がとても苦手。子犬の頃に、犬と触れ合う機会がなかったせいか、怖い様子。犬を見ると吠えまくり、その際に近づくと物を、なんでも噛む為、私も噛まれてしまいました。その時はララが少し怖くなってしまいましたが、今はそんな事ありません。散歩も、他の犬があまりいない時間帯を選んで散歩しています。飼い主が気を付けてあげれば、なんの問題もありません。とても甘えん坊で遊ぶ事が大好きなので、私の息子(8歳)とも毎日、仲良くしゃれて遊んでいます！大事な家族です。ララこれからもよろしくね！



### 2、ドッグトレーナー 長谷川竜也さん

【DOG LABS】WITH ALL ONE' S HEART、ドッグトレーナー長谷川竜也です。飼い主様と共に愛犬の出来ることを褒めて増やしていくことを心がけ、犬目線で取り組んでいます。犬を L=LOVE (愛して) 犬と共に A=ALIVE (生きて) B=BELIEVE (信じて) S=SAVE (守る) ことを WITH ALL ONE' S HEART (真心こめて) 人と犬との明るい未来の為にお手伝いをします。⇒次ページへ



⇒私の活動は捨て犬を増やさない、いわゆる【蛇口をひねる】役目だと思っています。昨年6月に私の愛犬「小太郎」は家族の一員となりました。この子も元々は茨城県で幼い頃に捨てられていた子です。犬は人が愛情をおしみにくく与えることで、その愛情に答えてくれます。そして楽しく素敵な毎日を送ることができます。小太郎は今、私のかけがえのないパートナー犬として共に生きています。

この度、当クラブの「殺処分0」への取り組みに賛同し、ドッグトレーナーとして会員となりました。少しでも貢献できるようにがんばります！



## 平成 28 年度主な活動報告

### 1、横浜市動物愛護センター・国際セラピードッグ協会訪問 (7/9)

横浜市の動物愛護センターは、2011年に建設された素晴らしい施設で、保護した犬たちを極力殺処分しない取り組みを行っており、この5年間の間に素晴らしい成果を上げています。

(殺処分の際もガス室での窒息死ではなく薬剤による安楽死) 命を救うため、譲渡対象となった犬については、シャンプーやトリミング、ワクチン接種、避妊去勢手術、マイクロチップ埋込まで行い里親に引き渡すとしており、行政が出来る最大限の努力をしていると思います。人口350万の横浜市で平成26年度殺処分となった犬はわずか約50頭！信じられません！

続いての国際セラピードッグ協会では、大木トオル代表に直接、H28/3に行ったバザーの売上&義捐金の一部を贈呈。福島の被災犬の対応状況などをご説明頂きました。また、面談後は、たまたまサテライト講座として北里大学の学生対象に行われたセラピードッグ活動の講演を拝聴、当方の新規メンバーを含め、改めて大木先生の殺処分ゼロ、セラピードッグの育成への素晴らしい取り組みに感銘を受けました。



### 2、三島だがしや楽校に参加！(8/21)

毎年恒例となっている三島大社でのだがしや楽校に参加。例年通り、台風一過の猛暑の中でしたが、多くの子ども達が集まりました。

折り紙を使って犬の顔を各自折ってもらい、ペンダントのようにして持参頂くワークショップを開催。

この製作を通じて、動物愛護の精神を純粋な子どもたちの心に宿してもらいたいと期待。それにしても、あの暑い中、休みなく子どもたちの指導してくれたクラブメンバーの皆さんには頭が下がります。ご苦労様でした！



### 3、ぬまづ福祉まつり参加！(10/15)

秋恒例の「福祉まつり」が10月15日「キラメッセぬまづ」で開催され、私達クラブの参加も7回目を迎えました。ブースでの犬・猫殺処分の現況の展示やセラピードッグの啓蒙活動に加え、今年は新たな試みとして補助具を使用した「高齢者体験」を提案し、幅広い年齢の方に参加して頂きました。

経験した事のない感覚に、皆さん驚きの声をあげていました。ステージ上でのセラピードッグによるデモンストレーションも今年も大勢の方にご覧頂き、今まで存在を知らなかった方達からの質問にトレーナーが答える場面もあり、関心の高さを感じる事の出来た一日でした。(清水まゆみ)



## 4、第3回 ぬまづわんわん運動会を開催！（11/20）



3回目となる「わんわん運動会」を沼津市中央公園で主催。今回も多くのワンちゃん、愛犬家が集い、コスプレウォーキング、マナー教室、マラソン大会、体力測定など、愛犬との楽しい1日となりました。

同時開催の「ぬまづパンマルシェ」も凄い人出となり、わんわん運動会と併せ、沼津の中心市街地の秋の恒例行事に成長しました！

## 5、東北支援チャリティーマルシェ&犬猫譲渡会（2017/3/12）

昨年から東北支援チャリティーイベントが行われる日枝神社の隣の山王公園で、犬猫譲渡会を行っています。犬猫譲渡会は毎月行われていますが、単独で行うよりも他のイベントと一緒にすることで、相乗効果があります。犬を飼うつもりはなくても、展示物を見て私たちの活動に賛同して、ご寄附をしてくださったり。今回も、とっても多くの皆様にご来場頂き、犬猫の譲渡だけでなく、命の大切さ、震災時のペットとの同行避難の仕方など考える場となりました。この時は2頭の命が繋がりました。ありがとうございました。



### ★捨て犬・命のレスキュー記録！幸せになったワンコたち

#### ① 里親募集中 ミックス・リキ君（H28/8 富士保健所より引出し）（笠井清美）

平成28年8月、富士市内の山で保護されたリキ君。青いハーネスを着けていたこと、民家が少ない場所での保護だったので飼い主さんはすぐ見つかるだろうと臆込みをしたのですが見つかりませんでした。引出しをしたいものの預かりさんがいない中、全く面識のなかったご近所さんから協力の申出があり、預って頂き命が繋がりました。リキ君、去勢・歯石除去をおこない現在も預かりさんの元で元気に暮らしています。月一回の譲渡会には元気良く参加していますので、是非リキ君に会いに来てください！



H29.4 現在

【推定8才～オス 体重13キロ 去勢・歯石除去・狂犬病接種済み・9種混合ワクチン済み】

#### ② 柴犬系ミックス・サンちゃん（H28/6譲渡）（一時預かり 笠井清美）

「サンちゃん。幸せ掴みました！」

3月に保健所からレスキューした柴Mixのサンちゃん。人が大好きなイケメン君でした。散歩が大好きで預かりの私達を引っ張って、とても元気なサンちゃん。ご縁は沼津市内のご家族と繋がっていました。緑が目眩しい新緑の6月、サンちゃんは沼津のSさんご家族のワンコになりました！お庭が素敵なお家で、サンちゃん玉の奥へ〜(´o`)後日、わんわん運動会にも幸せいっぱいの様子で遊びに来てくれました！サンちゃん笑顔がすべてを物語っている！！本当に良かったです！



★セラピードッグ育成募金へのご協力ありがとうございます！（募金箱設置の会社、お店など）

ジャスコム/阿蘭陀館/リズテック/ペド・ハンヌ/沼津観光協会/わんのはな/パイン動物病院/共生会/NPO SIDAM/ドッグサロン・ビビ/トニースホ/ルル/ドッグカフェホワホワ/スナック ジョングル/しゃんぴによん /あっぱい汁/クリーニングサウ 他